県制１５０周年記念事業の概要

～郷土への誇りと愛着をはぐくみ 活力あふれる明るいみやぎへ～

県制１５０周年記念事業基本方針

１　趣　旨

宮城県は，明治５年（１８７２年）２月１６日（旧暦１月８日），旧仙台藩を中心とする「仙台県」から改称する形で成立しました。令和４年２月の宮城県誕生150周年を記念し，県民一人ひとりが，先人や自らが積み重ねてきた努力と歴史を振り返ることで，郷土への更なる愛着を醸成するとともに，地域の魅力を再発見し，宮城の特色を内外に発信しながら，一層の誘客促進と地域活性化への契機とすることを目的に「県制150周年記念事業」を実施します。

２　記念事業のテーマ及び取組の方向性

記念事業のテーマを次のとおり定め，明るい未来を展望しながら，県，市町村，企業・団体等の多様な主体による取組を推進します。

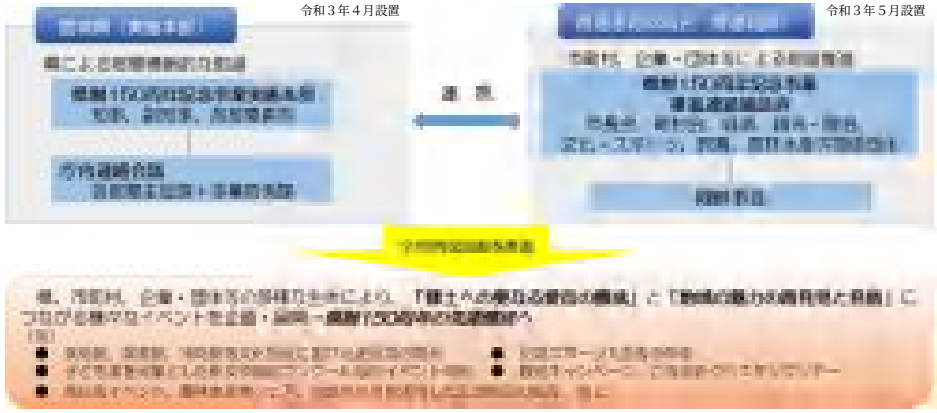
（１）郷土への更なる愛着の醸成

県民一人ひとりが，これまで受け継がれてきた伝統と文化，積み重ねてきた歴史を改めて振り返り，先人達に対する尊敬と感謝の念を深め，郷土に対する更なる愛着を醸成します。

（２）地域の魅力の再発見と発信

積み重ねられた歴史の上に成り立つ地域の魅力を再発見し，その多彩な地域資源を活用しながら，交流人口の拡大と地域活性化を図ります。

３　記念事業に関連する推進体制



＜県制１５０周年記念事業推進連絡協議会の構成19団体＞
宮城県，県市長会，県町村会，県商工会議所連合会，県商工会連合会，仙台経済同友会，東北経済連合会，日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会，県観光誘致協議会，県観光連盟，仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会，県芸術協会，県文化協会連絡協議会，県スポーツ協会，県教育委員会，学都仙台コンソーシアム，県農業協同組合中央会，県漁業協同組合，県林業振興協会

記念事業の取組概要について

令和４年５月
宮城県企画部

資　料　８

１　記念事業ロゴマークの活用

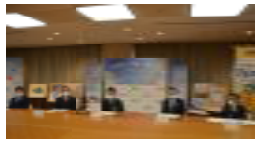
【募集対象：県内の高校生】
【令和３年１１月８日発表】

県制150周年記念事業のシンボルとなるロゴマークを作成し，ＰＲに活用します。

【作者（受賞時）】宮城県古川工業高等学校 佐々木 七海 さん

２　記念イベント及び式典等の開催

２月１６日　県制150周年を記念して共同記者会見を開催し，県民に向けてメッセージを発信
９月　３日　記念講演及び演奏会の開催
１１月　１日　県制150周年記念式典の開催



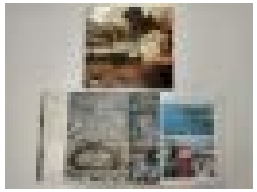
２月１６日の共同記者会見

３　記念誌の発行

【令和４年１０月発行】

県制150周年を記念し，これまでの県の歩みや歴史・文化，様々な出来事を記録に残し，広く知っていただくため，記念誌を作成します。

電子ブックと動画によるデジタル版を基本とし，インターネット等を通じて県内外に発信します。



県制100周年記念誌

４　観光キャンペーン

【令和４年度】

宮城の歴史や文化をテーマに，日帰り旅行企画の「伊達なバス旅」，１５０カ所を巡るスタンプラリーなど，地域の魅力を発信する観光キャンペーンを展開します。

５　官民あげた事業・取組展開

【令和３年１２月から】

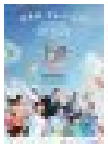
県制150周年記念事業推進連絡協議会を通じて，県，市町村，企業・団体等が連携し，ロゴマークや記念グッズ等を活用しながら，関連イベントを開催するなど，官民あげて事業・取組を展開します。

６　プロモーション

特設サイト：https://miyagi150th.pref.miyagi.jp/
SNS公式アカウント：@miyagi150th

【令和４年２月から】

県内外の多くの方に宮城の魅力を発信し，事業全体の活性化を図るため，特設ポータルサイトを開設するほか，ＳＮＳを活用した県民参加型企画（投稿キャンペーン，「宮城の魅力発見！」活動企画）の実施など多角的なプロモーションを展開します。



取組スケジュール

	令和３年度						令和４年度											
月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		◆ロゴマーク発表			◆共同記者会見							◆講演・演奏会	◆記念誌発行					
							「宮城の魅力発見！」活動企画							◆記念式典				
			観光キャンペーン／官民あげた全県的な事業・取組展開／プロモーション															